



第7号

## —労災病院の理念—

勤労者医療と地域医療の中核病院として、患者様中心の安全で安心な質の高い医療を提供します

## 労災病院 → 最近の治療

## 外来化学療法室

## 外 科

竹 田 泰

昭和54年 東京大学卒 医学博士

- 指導医 日本外科学会、日本消化器外科学会
- 専門医 日本外科学会
- 認定医 検診マンモグラフィー読影認定医、日本消化器外科学会
- 専門分野 消化器外科



従来、消化器をはじめとする固形癌の抗癌剤治療（化学療法）は惨憺たるものでした。副作用で体はつらいが治療効果は乏しいとのことで全身に転移した癌にはほかに治療法がないことがわかつっていました。なかなかお勧めできませんでした。しかし、近年新規抗癌剤が次々と開発され、癌化学療法の治療成績には目を見張るものがあります。

癌が再発した場合の化学療法で、平均生存期間の延長が明白に証明されているものや、術後の再発予防の補助化学療法で、再発率が明らかに低下するものがい

くつも出てきています。また、炎症性乳癌などの一部の悪性度の高い癌では手術前に化学療法を施行する場合もみられます。それらの多くはいくつかの抗癌剤を組み合わせて投与しますので、以前は安全性を考え入院治療が原則でした。しかし、ここ数年の化学療法に伴う副作用対策の確立で、いくつかの化学療法が外来通院で可能になり、患者様のQOLの格段の向上をもたらしています。

東京労災病院では、平成17年2月より外来化学療法室を開設し稼動しておりますのでご紹介させていただきます。

## ご利用可能な患者様

化学療法を外来通院で施行できる方（外科だけでなく他科も歓迎しております）  
に対して外来化学療法が可能かどうかを入念にチェックいたします。

## スタッフ

医師 看護師 薬剤師

専任の看護師および薬剤師が担当いたします。

医師は各科の主治医が担当いたしますが、治療中の急変時には外科外来の医師  
が対応いたします。



## ご利用可能時間

月曜日から金曜日まで

午前 8 時 15 分から午後 4 時まで

※完全予約制です。

各科外来担当医をとおして予約をお取りいただけます。

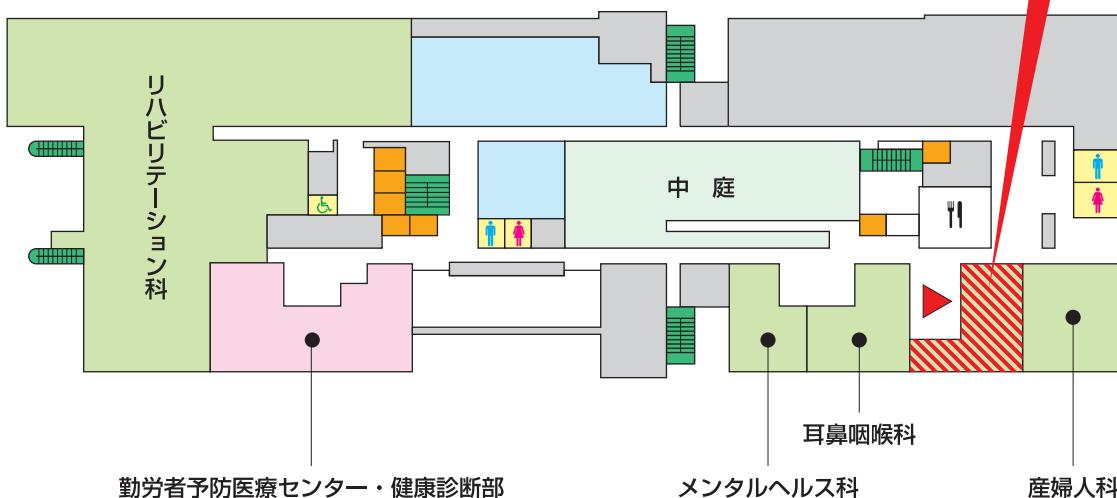
## 場所

外科外来

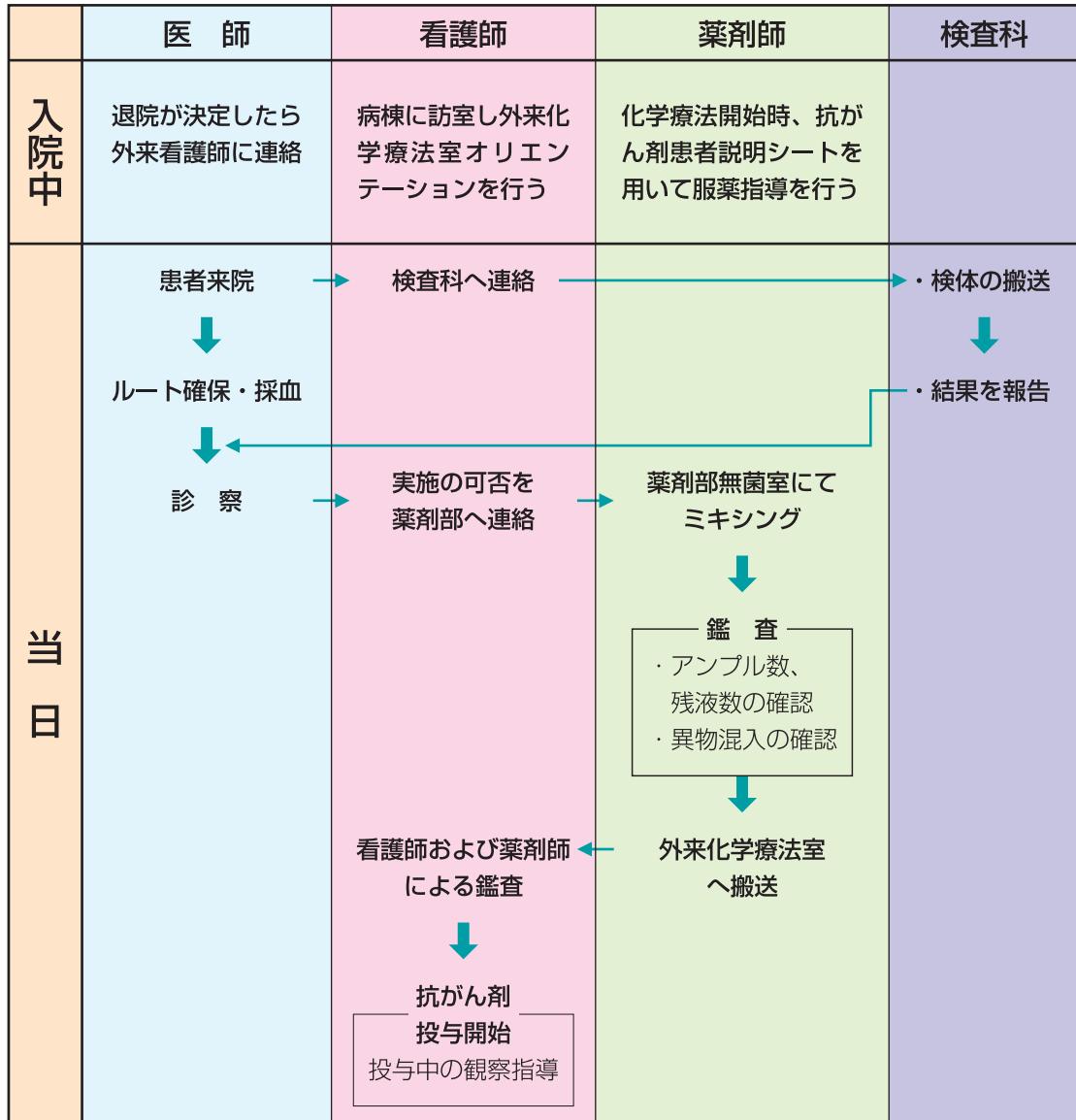
### 2F 案内図

■ 階段 ■ 化粧室 ■ エレベーター

2F  
外科外来



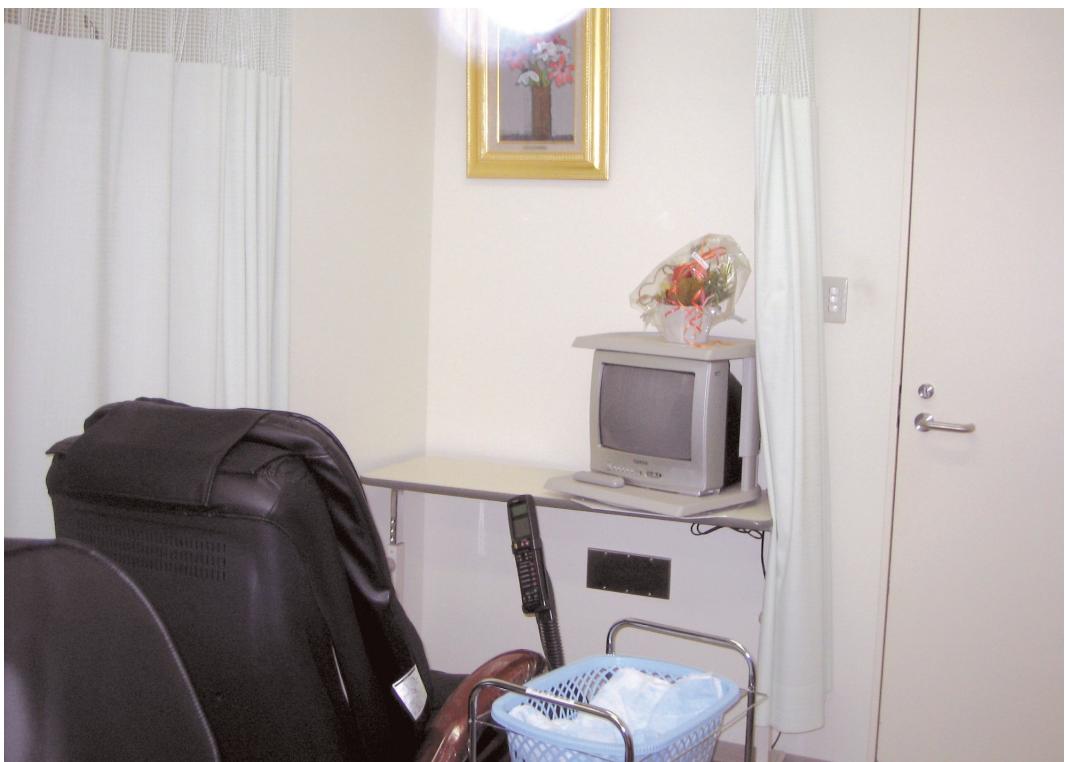
## 外来化学療法の流れ



## 設備

- |              |   |
|--------------|---|
| ■ ベッド        | 2 |
| ■ リクライニングチェア | 3 |
| ■ 心電図モニター    | 1 |
| ■ 救急カート      |   |
| ■ 酸素吸入       |   |

※ リクライニングチェアはマッサージ機能をもち、  
それぞれにテレビもついており、好評です。

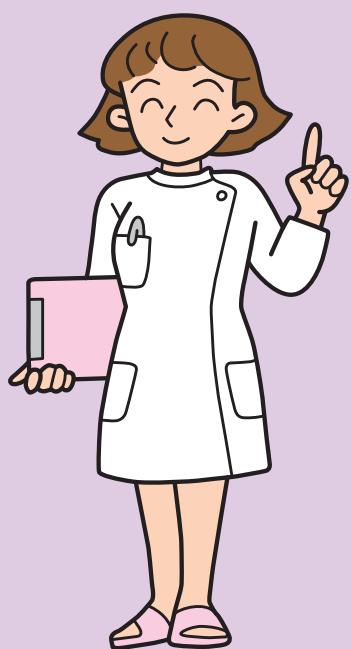


## 薬剤部

抗癌剤調製は薬剤師 5 名が担当しており、外来および入院で施行される抗癌剤の無菌調製・鑑査を行っています。患者様の体重、腎機能、体表面積等を参考に抗癌剤の投与量が適切であるか、また投与速度、投与間隔が院内登録されている各種プロトコールから逸脱していないかなどを複数の薬剤師で確認しています。入院中の患者様においては病棟担当の薬剤師が抗癌剤治療、投与スケジュール、副作用症状とその予防法等について説明を行っています。

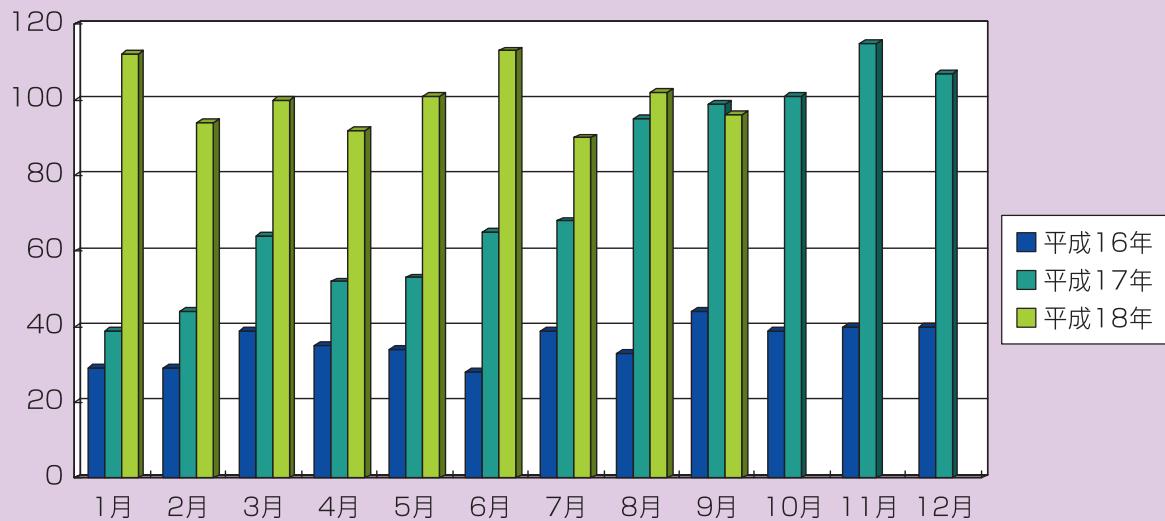


## 看護部



外来通院で化学療法を行う場合、自分らしい生活を送ることができたり、家族からサポートを受けられやすい、といったメリットがあります。しかし、化学療法に対する不安や、副作用への対処を自宅で行わなくてはいけない・・・など、さまざまな問題を抱えています。外来では、個人カルテを作成しており、問題点・指導内容などを記入し、長期に渡る治療が安全に、また安心して継続していくようにしています。また、他職種との連携を図り、看護の質を確保しながら効果的な医療を提供していきたいと考えています。

## 月別施行件数（平成16年1月～）



## 癌化学療法安全管理委員会

当院ではより安全な治療を行うための運用体制として、抗癌剤プロトコール登録制をとっています。抗癌剤の対象疾患、種類、基準投与量、用法等を上記委員会にて審査し評価されたものが登録されます。主治医は登録された抗癌剤プロトコールのなかからオーダーリング画面をとおしてオーダーします。自由に抗癌剤を使用することはできません。化学療法の標準化を進め、安全性の向上を図っています。

## 今後の展望

新たな抗癌剤の登場も期待され、今後ますます外来化学療法の重要性は増加するものと思われます。当院も現状に満足せず、なおいっそう患者様の安全性、快適性を追求してまいりますので、なにかお気づきの点がございましたら 外来化学療法室までご連絡ください。